

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成27年採択分）
「アジア政治の国際情報発信強化」
（課題番号：15HP2025）

学術団体名：アジア政治研究連合

学術刊行物の名称：Asian Journal of Comparative Politics

事業期間：平成27年度～平成31年度

1 取り組みの概要

- ・取り組み内容の特徴と目的、意義及び方法
- ・応募時に設定した取り組みの目標・評価指標

取り組み内容の大きな特徴は世界でも唯一の分野の学術雑誌なので、編集委員の選考とレビュアーの選択が第一義的な問題となる。編集委員は学術雑誌の大きな路線を決定していくのに対して、レビュアーは個々の投稿論文の是非を決めていく。

第二番目の問題は世界で唯一のアジア比較政治雑誌が新しい学風をつくることにも貢献するので、雑誌の特徴をどのように刊行論文で示していくかである。始めの数年で雑誌の路線、学風を印象づけられればよい。

第三番目の問題は投稿論文の多寡である。多ければ多い程よい。欧米政治を対象とする比較政治は固定したパラダイムが強く、しかも欧米に偏ったものであることが多い。アジア政治の複雑性、多様性、特殊性をどのように掲載論文がよく印象づけることができるかが重要になる。

2 目標の達成状況

- ・現在までの目標の達成状況
- ・今後の計画

2016年から創刊し、年4回の雑誌の刊行は非常に順調である。2年間8号のどの論文をみても、Asian Journal of Comparative Politics となうって刊行しただけの味がでていいる。投稿論文数も欧米だけからでもなく、アジアからだけでもなく、ちょうど良いバランスがとれている。投稿論文も創刊前にはひどく心配の種であったが、杞憂であった。欧米だけでなく、アジアだけでなく、世界中から多少の差はあれ、この雑誌を目掛けて投稿論文が殺到している。年間に約50～80本の投稿論文があり、掲載論文は年間に約20～25本である。

今後は順調にさらに拍車をかけるべく、新しい視点からの特集を仕込んでいる。

例：Asia Transnational Politics, Civil turmoils and terrorisms, Religion, ethnicity and violence。2018年3月初に編集委員会は国際会議を開催する。後者の改定版は Asian Journal of Comparative Politics の特集号にする計画である。